

## 経済情報処理ワークショップとインターネット生中継

経済学部 教授 新里 泰孝

### 1. はじめに

経済情報処理ワークショップ (<http://www3.u-toyama.ac.jp/tulip/ws/>) は経済学および経済に関する情報処理教育についての研究会である。第1回は2007年7月24日であり、2011年2月17日で第21回となる。本稿ではこの研究会の経緯とこれまでの活動を紹介する。また、第11回2008年8月5日からは、インターネット生中継により研究会を公開してきた。生中継の効果についても述べる。

### 2. ワークショップの経緯

経済情報処理ワークショップは、富山大学経済学部の2007年(平成19年)学部長特別配分経費のプロジェクト「経済情報処理の教育研究」が認められ、その公開研究会として始まった。筆者が代表となり、経済学科の教員10人の共同研究である。

このプロジェクトの趣旨は次のようであった。2004年に経済学部のカリキュラム改正により、「経済情報処理」(2単位 2年次配当)が新設された。その目的は、2年次において経済学の様々な専門科目の基礎技術として、パソコンによる経済データの整理・分析などの情報処理技術の習得することにあつた。経済学科のほとんどの学生の履修を想定していた。しかし、現状は毎年1クラス(約50人)の開講にとどまり、授業内容は統計学・計量経済学の題材が中心であり、その実施状況は十分なものとはいえない。その原因として、1) 授業負担などの関係上、担当可能教員が統計学関係教員に限られていこと、2) この科目のカリキュラム上の位置付け・内容が明確でないこと、さらに、3) 適切なテキストがなく教育方法が確立していないことがあげられる。この共同研究の狙いは、この科目の教育方法を調査・研究し、教材の研究・開発を行い、授業方法の研究を行うこ

とである。

その後、学部長特別配分経費プロジェクトは2010年度まで継続し、2010年度には経営学科教員もメンバーに加わった。

また、2009年度には学長裁量経費「経済系情報教育におけるICT活用と教材開発」(代表:堂谷昌孝教授、経済学科、経営学科、総合情報基盤センターの教員計12名)に採択された。

### 3. 活動

第1回から第21回までのワークショップおよび2回の特別企画について、報告者とテーマを資料として一覧表にした。第1回と第2回では、2年次配当の「経済情報処理」や1年次配当の教養科目「情報処理」および「経済・経営データを読む」において、これまでどのような授業を行っていたかの教育実践報告である。2007年度はほぼ毎月開催し、「経済情報処理」の授業に限定せず、ITCを活用している様々な教育実践、教育研究、情報教育体制などのテーマが取り上げられた。報告者は経済学科の教員にとどまらず、総合情報基盤センターの上木先生(第3回)、高井先生(第4回)、経営学科の柳原先生(第7回)。そして、他大学から、第5回に角本伸晃教授(椋山女学園大学現代マネジメント学部):女子大の初年次における経済情報処理教育—現代マネジメントの基礎知識(地域・公共分野)—の報告が行われた。

2008年度、2009年度、2010年度も、他学科、他学部、他大学からの報告が数多く行われ、資料のように、第1回から第21回まで(特別企画2回を含め)のべ51人が報告した。経済学科27人以外に経済学部経営学科が5名、他学部(センター含む)が8名、他大学等が11名である。1報告の発表時間は30分から1時間程度である。ここでの報告が熟考、洗練され、経済教育学会において報告され、学会誌『経済教育』に掲載されたもの

が数件ある。

#### 4. 生中継

2008年8月5日(火)に特別企画として、経済学部のFD委員会と共催して、特別講演会を行った。岩田年浩先生(経済教育学会会長 関西大学教授)による「私の経済学教育論」と題する講演である。経済学部7階大会議室において行われた。これをインターネット生中継として、富山の地から全国に発信することを企画した。生中継を始めたのは、ある全国会議の生中継を見ている友人が、出席できなくても会議に参加でき、臨場感があると言っていたことにヒントを得た。

研究会を生中継による公開としたことで、発表者はカメラを意識し、プレゼンテーションの方法、報告内容に一段と工夫がなされたように思われる。生中継は単に映像を配信するだけでは不十分である。事前にレジュメ・資料をダウンロードして生中継に参加できるようにした。

生中継と言っても、一般のテレビのように、視聴者が多いわけではない。富山大学の情報教育関係者、全国の経済教育学会の友人、個人的な研究仲間など約100名程度に案内している。正確な数字は把握していないが、アクセス数からすると、視聴率10%以上になることもある。視聴者は教員

であり、この時間帯はお互い授業や公務があり、視聴は困難である。生中継の効用に意外な点もある。むしろ海外で研究中の人から夜ビールを飲みながら見ているよとお声が掛かるなどした。

#### 5. 課題—考える力—

情報機器は絶えず格段の進歩、改良がなされており、これを活用した教授法が求められている。しかし、無論、ICTを利用したからと言って直ちに教育効果が上がるわけではない。最近の学生は情報収集能力には著しく長けているが、情報分析能力はむしろ後退している。「考える力」をどのように養うかが課題である。

コンピュータは従来の計算機以外に、特に文系の場合には、情報収集手段としての役割が大きい。最近、電子ブック、電子図書館が広まっている。この活用は今後、注目できよう。

生中継については、今後、視聴者が直接参加できるようにすること、配信したビデオを編集しライブラリーを作り、オンデマンドすることなどが課題である。

最後に、われわれの経済情報処理ワークショップを他大学と連携し、全国的な経済情報教育のネットワークを構築することも課題である。

#### 資料 報告者とテーマ

	年月日	報告者	所属	テーマ
第1回	2007/7/24	〇・モヴシユク	経済学科	経済情報処理(2005.06 後期)
		大坂洋	経済学科	情報処理(2006 前期)
		若林丈靖	経済学科	情報処理(2006 前期)
第2回	2007/8/1	古田俊吉	経済学科	経済・経営データを読む(2006 前期)
		〇・モヴシユク	経済学科	経済・経営データを読む(2007 前期)
		唐渡広志	経済学科	経済・経営データを読む(2007 前期)
第3回	2007/9/27	上木佐季子	総合情報基盤センター	情報処理(2007 前期)
		新里泰孝	経済学科	「経済の変動」(香川大学集中講義 2007)
第4回	2007/10/11	新里泰孝	経済学科	立教大学、香川大学経済学部の情報処理教育体制
		高井正三	総合情報基盤センター	富山大学の情報処理教育15年と今後のあり方
第5回	2007/11/9	角本伸晃	椋山女学園大学	女子大の初年次における経済情報処理教育—現代マネジメントの基礎知識(地域・公共分野)—
第6回	2008/2/15	服部高明	経済学科	「経済政策」での情報処理の試み

		龍世祥	経済学科	「経済・経営データを読む(1年生・理工)」の進め方ー環境勘定へのアプローチー
第7回	2008/3/17	大坂洋	経済学科	マクロ経済学ⅡにおけるRの利用
		柳原佐智子	経営学科	業務の進め方を意識したシステム開発演習の授業
第8回	2008/5/12	中村和之・岩田真一郎	経済学科	経済学入門におけるe-learning ブラックボードの活用
		上東正和	経営学科	会計情報システム論におけるコンピュータ実習
第9回	2008/6/9	オ・モヴシユク	経済学科	計量経済学におけるEViewsの利用
		古川勝	経営学科	システムダイナミクスを用いた教育についてー数式を使わない数学モデルの活用法ー
第10回	2008/7/14	高山龍太郎	経済学科	大学生のインターネット等 の利用に関する調査
		小林久壽雄	理学部	「自然と情報の数理」(教養教育2007)ーExcelによる統計学ー
特別企画	2008/8/5	岩田年浩	関西大学	私の経済学教育:経済学部FD委員会と共催
第11回	2008/8/5	唐渡広志	経済学科	2007年度経済情報処理におけるPC実習
		岩田年浩	関西大学	カオス経済分析の授業実践
第12回	2008/9/30	木原覚	総合情報基盤センター	情報処理ーWebの利用による単位の実質化の試みー
		近藤 潔	芸術文化学部	芸術文化学部・情報処理入門の紹介
第13回	2008/10/28	大坂洋	経済学科	Rによるマクロシミュレーションの実習
第14回	2008/11/18	龍世祥	経済学科	理工系学生のための環境勘定入門
第15回	2009/2/20	小柳津英知	経済学科	基礎ゼミ(2年生)での経済データ分析の試みについて
		得田雅章	滋賀大学	滋賀大学経済学部の情報処理教育体制ーコア科目制度との関連を中心にー
第16回	2009/4/7	小川亮	人間発達科学部	E-learningの教育効果の評価ー教育工学の視点からー
第17回	2009/8/26	龍世祥・新里泰孝	経済学科・経済学科	環境勘定の基礎ー文系と理系学生の比較ー
		水上誠一	日本銀行富山事務所	業況DI等から見た北陸経済の景況動向
特別企画	2010/1/14	橋本 勝	岡山大学	学生参加型授業:橋本メソッドの実践:主催 富山県内7高等教育機関による戦略的連携事業推進委員会
第18回	2010/2/19	八木直人	東洋大学	演習・講義におけるe-learning教材の実践例(Javaアプリ他)
		石橋太郎	静岡大学	Mathematicaの魅力を再発見できるか
		大坂洋	経済学科	Rによる経済学入門ーMathematicaはもういらぬー
第19回	2010/3/23	小柳津英知	経済学科	固定資本減耗の概念をどう教えるべきか
		新里泰孝・高井正三	経済学科・総合情報基盤センター	経済数学入門のためのMathematica課題
第20回	2010/4/21	オ・モヴシユク	経済学科	経済・経営データを読む2009
		唐渡広志	経済学科	経済情報処理2008
		上東正和・上木佐季子	経営学科・総合情報基盤センター	経営・会計入門のための情報処理課題
第21回	2011/2/17	樋田勉	群馬大学	群馬大学社会情報学部の経済データ分析教育
		八木尚志	明治大学	明治大学政治経済学部の数量経済分析教育
		八木直人	桜美林大学	桜美林大学リベラルアーツ学群の計量経済学教育